

株式会社クレディセゾン(8253) 2014年度4-12月期決算発表

法人領域でのカード決済を強力に推進・海外事業での先行投資を積極的に展開

2014年度4-12月期は、『クレジットサービス事業』では、提携小売業との共同施策が奏功し、ショッピングセンターやスーパー、コンビニエンスストアでのカード利用の増加に加え、重要な経営戦略のひとつとして、企業における各種決済のキャッシュレス化に向けた法人カードの獲得と利用を促進した結果、法人カードの取扱高は前年同期比で23.3%増加し、ショッピング取扱高は同8.0%増加しました。キャッシングは、新規利用者の増加と利用活性施策に注力したことにより、取扱高は前年同期比で7.6%増加しました。

ネットビジネスでは、さまざまなサービスからの収益機会の創造に向けて、有力なネット企業や新技術を有するベンチャー企業と積極的に連携し、新たなサービスの開発に取り組んでおります。また、プリペイドカード先進企業として、国際ブランドプリペイドカードによる決済領域を拡大するとともに、海外事業では、アジア圏内でのプリペイドカード事業に向けた布石として、シンガポールの Matchmove Pay Pte Ltd.と資本業務提携し、リテール金融ビジネスの基盤づくりを推進しております。

『ファイナンス事業』では、信用保証事業において、個人事業主などの資金ニーズに対応した事業性ローンの保証業務にも取り組み、新たに地域金融機関等8先と提携し、提携先数376先へ拡大し、保証残高は前期末より10.1%増加しました。また、高まる不動産投資ニーズに対応した「セゾンの資産形成ローン」では、有力な提携先との連携により、貸出残高が前期末より76.3%と大幅に拡大し、ファイナンス事業全体での営業収益は前年同期比15.6%増加しております。

以上のことにより2014年度4-12月期は、**単体では、営業収益1,618億円(前年同期比5.3%増)、営業利益308億円(同17.8%増)、経常利益336億円(同10.0%増)、四半期純利益は201億円(同14.7%増)**となりました。

連結では、営業収益1,921億円(同3.0%増)、営業利益357億円(同7.1%増)、経常利益401億円(同5.4%減)、四半期純利益は258億円(同6.0%減)となりました。

当連結会計年度のセグメント別業績概況は次の通りです。

1. 営業概況

(1) クレジットサービス事業

顧客基盤の拡大とカードの利用促進に取り組み、営業収益1,475億円(前年同期比4.0%増)、営業利益172億円(同8.3%増)

- ① ショッピングは、提携小売業と連携した利用活性プロモーションやリボルビング払い・ボーナス払いの利用促進、公共料金や通信料金等、継続利用のあるカード決済化に加え、法人カード利用による企業における各種決済のキャッシュレス化の推進により、取扱高3兆573億円(前年同期比8.0%増)、リボルビング残高2,893億円(同9.6%増)と堅調に推移しました。
- ② キャッシングは、新規利用者の増加と利用活性施策の継続により、取扱高2,184億円(同7.6%増)と着実に増加しています。
- ③ プレミアムカードの「セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カード」や「ウォルマートカードセゾン・アメリカン・エクスプレス®・カード」、「三井ショッピングパークカード《セゾン》」など、提携小売業店舗と共同での会員募集を進める一方で法人・個人事業主向けカードの会員募集の強化を図り、176万枚の新規カードを獲得しました。
- ④ ネットビジネスでは、スマートフォンの普及拡大に対応し提供を開始したカード会員向けスマートフォンアプリ「セゾン Portal」「UC Portal」を通じたネットサービスの利用促進を図り、ネット会員は1,091万人(前期末比9.6%増)に拡大しました。
- ⑤ 海外事業では、平成26年11月にバーチャルブランドプリペイドカード事業を展開するシンガポールの Matchmove Pay Pte Ltd.との資本業務提携をはじめ、12月には米国において複数の磁気ストライプカードを1枚に集約するデバイス「コイン」事業を展開する Coin, Inc.への出資を行い、中長期的な海外戦略の基盤づくりを推進しています。

(2)リース事業

良質債権の積み上げと貸倒関連費用の減少により、営業利益 45 億円(前年同期比 3.9%増)。

- ① 主力提携販売店を中心に販売店の特性に応じた共同キャンペーンの実施や取扱商材の拡充による営業を強化するとともに、適正な与信と債権回収の強化により貸倒関連費用の抑制に努めました。

(3)ファイナンス事業

提携先との連携強化と商品の多様化を図り、ノンバンクとして事業基盤を着実に拡大。営業収益 162 億円(前年同期比 15.6%増)、営業利益 90 億円(同 26.6%増)。

- ① 信用保証事業は、地域金融機関とのきめ細やかな連携に努めた結果、新たに地域金融機関等 8 先と提携し、提携先数 376 先(前年同期差 19 先増)、保証残高は 2,533 億円(前期末比 10.1%増)と順調に推移しました。
- ② 2013 年より販売を開始した「セゾンの資産形成ローン」は、有力な提携先との連携強化により、実行金額 252 億円(前年同期比 60.4%増)、貸出残高 562 億円(前期末比 76.3%増)と大幅に拡大しました。
- ③ 長期固定金利住宅ローン「フラット 35」は、消費税増税の影響によりマーケット全体の取扱高が前年を下回る中、取次ぎ店等との営業連携を強化し、住宅金融支援機構への債権譲渡済み残高は 2,644 億円(前期末比 20.9%増)となりました。

(4)不動産関連事業

連結子会社(株)アトリウムにおいては、不動産市況の回復や積極的な営業活動により、順調に推移しております。また、整理事業における開発案件の早期資産圧縮にも取り組んでおります。

2. 経常利益・純利益概況

今後の持続的成長に向けた顧客基盤の強化、事業領域拡大への先行投資を行った結果、**営業利益 357 億円(前年同期比 7.1%増)、経常利益 401 億円(同 5.4%減)、四半期純利益は 258 億円(同 6.0%減)**となりました。

(ご参考)

2014 年度 4-12 月期の単体業績

(1)新規カード開拓枚数	:	223 万枚	(前年同期比 12.3%減)
(2)新規カード発行枚数	:	176 万枚	(前年同期比 9.0%減)
(3)カード総会員数	:	2,485 万人	(前期末からの純増数 10 万人)
(4)稼働会員数	:	1,457 万人	(前期末からの純増数 37 万人)
(5)稼働率	:	58.6%	(前期末から 0.5%増)
(6)カードショッピング取扱高	:	3 兆 573 億円	(前年同期比 8.0%増)
(7)カードショッピングリボ残高	:	2,893 億円	(前年同期比 9.6%増)
(8)カードキャッシング取扱高	:	2,099 億円	(前年同期比 7.4%増)
(9)カードキャッシング残高	:	2,181 億円	(前年同期比 0.3%増)
(10)営業収益	:	1,618 億円	(前年同期比 5.3%増)
(11)経常利益	:	336 億円	(前年同期比 10.0%増)
(12)当期純利益	:	201 億円	(前年同期比 14.7%増)